

受けよう がん検診!

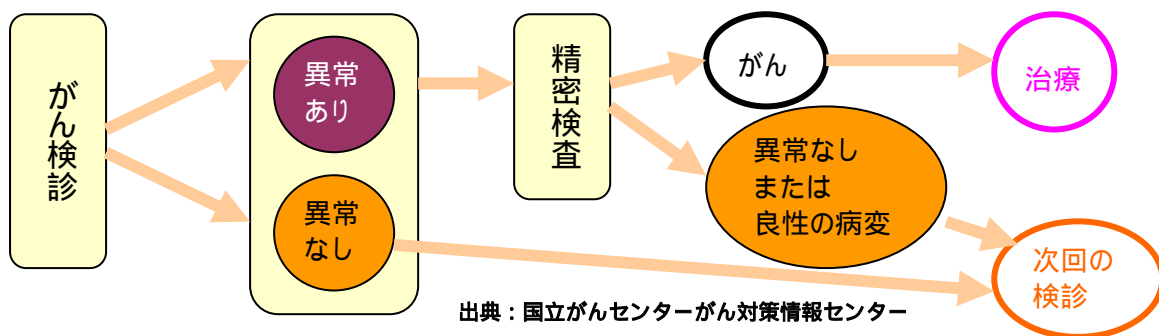
がんは身近な病気です!

3人に一人が、がんで命を失っています。

男性の2人に一人、女性の3人に一人が生涯に一度は「**がんと診断**」されています。

自覚症状がないうちに、「がん」を早期に見つけ、治療することが大切です。
がん検診の目的は、早期に見つけて、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。

がん検診の流れ



主ながん検診の検査方法

主ながん検診	対象	検査方法
胃がん	男女とも40歳以上 年1回	胃X線検査 バリウム（造影剤）と発泡剤（胃をふくらませる薬）を飲み、胃内の粘膜を観察します。
大腸がん	男女とも40歳以上 年1回	便潜血検査 がんやポリープなどの大腸疾患があると、大腸内に出血することがあります。この検査は、その血液を検出する検査です。
肺がん	男女とも40歳以上 年1回	胸部X線検査と喀痰細胞診 肺全体をX線で撮影する胸部X線検査と、喫煙者でリスクにより痰にがん細胞が混ざっていないか調べる喀痰細胞診の組み合わせによる検査です。
子宮頸がん	20歳以上の女性 2年に1回	細胞診 子宮頸部の細胞を採取し、がん細胞の有無や種類を知る検査です。
乳がん	40歳以上の女性 2年に1回	視触診 医師が乳房にしこりがないか診察します。 マンモグラフィ 乳房を装置ではさみ、圧迫してX線撮影します。

出典：がん研究振興財団資料より

がん検診を希望される方

お住まいの市にお問い合わせください

長浜市健康推進課 65-7779

米原市健康づくり課 55-8105